

戸塚 哲夫 議員

道の駅の設置はどうか

問 市が策定する地方版総合戦略や新総合計画に、道の駅を位置付け、設置に取り組むことを提案するが、

答 道の駅は、道路利用者のサービスはもとより、地域の個性や魅力を活かした様々な取り組みにより、地域振興や地域コミュニティの場としても、近年、高いニーズや役割が期待されている。

本市では、道の駅の条件を満たす用地は、国道1号線、国道150号線沿いが考えられるが、農振農用地の問題や、道路管理者として休憩施設の必要性の判断、併設店舗の採算性確保など克服すべき課題が多い。

しかし、地方創生を考えた場合、地域振興や雇用の創出、にぎわいや交流の促進など、道の駅がもたらす効果は大きいことから、地方版総合戦略への位置付けについて、検討していきたい。



はいかいSOSネットワーク協力事業所のステッカー

徘徊高齢者の捜索に

キーホルダー活用を

問 徘徊する高齢者の早期発見、保護にキーホルダーを活用して成果を上げているところがある。検討したらどうか。

答 「はいかいSOSネットワーク事業」の効果が、地域の理解が得られ表れてきている。システムの効果を高めるために有効であると考え、その方法を検討してきました。

村松 尚 議員

地方創生の取り組みは

問 地方版総合戦略と本市の第2次総合計画との関連性はどうか。

答 国の総合戦略と市の総合計画は、人口に関する課題や基本目標もほぼ合致している。第2次総合計画の基本構想に掲げる、子育てするなら袋井市、定住するなら袋井市、市民力なら袋井市という3つの方向性の中で袋井市版の総合戦略を策定していきたい。

問 雇用創出のため企業用地の確保に向けた考えは。

答 企業ニーズに対応した工場用地の創出に向けて、新たに防潮堤整備と連携した豊沢地区開発（8ヘクタール）を早急に進めたい。地域雇用の確保と創出はまちづくりの根幹であるため、将来に向け三川地区などの候補地も視野に入れながら考えていきたい。

小中学校の教室不足解消を

問 袋井北小学校、山名小学校、周南中学校は教室不足の心配があるがどうか。

答 袋井北小、周南中学校については、両校とも数年後に5教室程度の教室不足を見込んでいる。特別教室を普通教室に転用し、なおかつ不足する教室については、教育活動に支障のないよう新たな施設の整備を図ってきたい。



教室不足が見込まれる袋井北小学校